

2024年度 第3回企画環境委員会 議事録

日時 令和6年12月6日(金)15時00分～17時00分

場所 よつば総合法律事務所

出席者 委員長 大森 滋 (茂原支部)

東條 史 (京葉支部)・石岡 邦彦 (市原支部)・相川 幸雄 (木更津支部)

飯田 利治 (東葛支部)・秋山 隆 (北総支部) 秋元 浩 (千葉支部)

辰野 方哉 (安房支部)

企画環境委員長挨拶

私、委員長のアドレスが変更となり既に事務局から報告があったはずなので承知頂きたい。

先日、Webにてジギョケイ、社労士診断認証のWebセミナーが開催された。こちらについて各支部において周知して頂いたことと思うが見逃し配信をしている。こちらについては本日、会員宛にメールが届いておりますので周知の程、お願いしたい。

また第2回として今月17日についてもJSA-S、リスクマネジメントのWebセミナーが開催されますので周知を引き続きお願いしたい。

本年度の取組みとして繰り返しになるがまず、私たち委員が資格の意味や内容を理解し会員の皆様にしっかり必要性を説明し広報していくことを委員に改めてお願いしたい。

議事

1. 2024年度第3回東関東ブロック協議会報告

雨宮理事から活力研・ワーキンググループでの報告がされた。不公正募集についての報告書が金融庁に提出され一定の活動成果が出ている。BM問題以降金融庁の対応が変わってきている。今後リスクマネジメントが出来る代理店の育成が大事であり直近の課題である。12月17日にWebセミナーが開催されるので是非、参加して頂きたい。またワーキンググループについては年末までに会議が予定されている。

上記のことを踏まえ、10月30日に行われたワーキンググループについて私たち委員の活動に関係する内容を確認した。

確認内容は「保険代理店に対する規制及び監督の全体像（案）」

・乗合保険代理店・専属代理店に対して

情報の提供・比較推奨を行う場合における情報の提供・顧客の意向把握・体制整備参考として「一般の保険金不正請求事案を踏まえた対応の方向性」を確認した。

2. 取組み事項勉強会

今回の勉強会は社労士診断認証制度について。

まず、この制度についての案内については日本代協の書庫に掲載されているので活用を改めてお願いしたい。

この制度についてどの程度浸透しているか確認した。宣言では全国で3029件。千葉県では69件。その次の段階の実施企業は全国で215件、千葉県では5件。最終目標の適合企業では全国で393件、千葉県では8件だった。この千葉県の8件のうち保険代理業は3件だった。現状を踏まえて、まだこれからさらに必要性を広報する必要がある。まず宣言の方法について確認した。セルフチェックで簡単に（法人番号を入力する必要はあるが）宣言が出来、1時間後には宣言企業のマークが取得できる事を資料を使い説明。

また費用については社労士先生によりばらつきあり。しかし顧問契約している社労士先生がいれば費用も抑えて取得が出来る。取得費用が高額になるばかりではないので承知頂きたい。追加で申し上げると全国社会保険労務士会連合会に問い合わせた際、私たちだけでなく取引先のお客様にも認証制度を取得する為のデータ入力マニュアル（企業用）が連合会の認証取得サイトに掲載されているので是非、活用して頂きたいとのことだったのでマニュアル案内をさせて頂いた。

まずは委員の皆さんもまずは宣言をして欲しい旨をお願いし勉強会終了とした。

3. ジギョケイのプロセス・好取組事例について

ジギョケイについての取組みについての報告を聞くことが飯田委員、秋山委員から聞く事が出来た。内容としてはジギョケイ取得を企業へのアプローチから生保成約まで至った事などが挙げられた。より具体的に確認するためプロセス・事例に関して「価値向上策 好取組ホーム」を渡しこちらまでFAX頂くよう飯田委員、秋山委員にお願いした。併せて引き続き各委員に取組みホームの活用をお願いした。

4. 副委員長の選出について

委員長が急遽、欠席となった場合や運営の補助的な役割として副委員長を選任する事とし、結果、委員長が茂原支部の溝口委員を副委員長に推薦をし他の委員の承諾を得た。後日、溝口委員に報告予定。

5. その他 次回委員会開催日時

直近の取組みとしては12月17日のWebセミナー参加の呼びかけをお願いした。開催日については未定。後日メールにて案内を送る。

議事作成人 大森 滋